

平成22年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

石巻市教育委員会

当市では、今年度、全国学力・学習状況調査を行うに当たり、各校の実態を把握するとともに、教育活動の改善に資するため、全小・中学校が参加しました。当市全体の結果とこれからの取組についてご理解いただくため、結果の概要を公表いたします。

なお、この調査で測られる学力はあくまで「学力の一部」であり、結果についても、学校における教育活動の一側面をとらえたものであることをご理解願います。

1 本調査の目的

本調査は、文部科学省の事業として、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するため、抽出調査及び希望利用方式で実施されました。本市においては、平成19年度から悉皆で行われてきたことを受け、全小・中学校を調査対象とし、教育活動の成果と課題を継続的に検証することにより、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施しました。

2 調査実施日

平成22年4月20日（火）

3 調査対象

石巻市内の小学校6年児童及び中学校3年生徒全員

4 教科に関する調査結果と考察

(1) 正答率一覧（単位%） （「正答率」は、満点を100点としたときの「点数」と同じです。）

			「知識」に関するA問題					「活用」に関するB問題				
			全国平均	県平均	石巻市平均	全国と市の差	標準化得点※	全国平均	県平均	石巻市平均	全国と市の差	標準化得点※
小学校	国語	H22	83.3	83.4	81.9	↑-1.4	↑99	77.8	77.7	72.1	↓-5.7	98
		H21	69.9	67.4	65.1	-4.8	97	50.5	49.8	46.9	-3.6	98
	算数	H22	74.2	73.8	71.3	↑-2.9	98	49.3	47.8	47.6	↑-1.7	99
		H21	78.7	77.5	75.7	-3.0	98	54.8	54.0	52.1	-2.7	99
中学校	国語	H22	75.1	76.2	74.6	↑-0.5	99	65.3	66.7	61.8	↓-3.5	↓98
		H21	77.0	78.1	75.6	-1.4	99	74.5	76.4	73.2	-1.3	99
	数学	H22	64.6	64.4	61.0	↑-3.6	98	43.3	44.0	41.6	↑-1.7	↑99
		H21	62.7	62.1	58.3	-4.4	98	56.9	57.7	52.7	-4.2	98

※「標準化得点」 各調査年度において、全国平均正答率が100となるように標準化したもの。
調査年度により平均正答率が異なるので、同じ指標で比較するために掲載。

(2) 各教科の調査結果の全国との比較 (○…よかった点 ●…課題が見られる点)

【小学校国語】

- 漢字を正しく読んだり書いたりすること
- 自分の考えを、理由を明確にしてまとめて書くこと
- 要点をまとめたり理由や説明等を記述したりすること

【小学校算数】

- 整数、小数の四則計算を正しく行うこと
- 図形の表現処理に関すること (角の大きさを求める 立体図形の展開図を構成する)
- 図形の知識理解に関すること (円や台形の面積を求める)
- 計算のきまりを理解し、式を修正すること

【中学校国語】

- 文章を推敲し、読みやすく分かりやすい文章にすること
- 伝えるべき内容を整理して書くこと
- 文章の構成や展開を的確にとらえること
- 比喩的な表現で書かれた内容を理解すること

【中学校数学】

- 文字に数を代入して式の値を求めること
- 柱体の体積の求め方を理解し、体積を求めること
- 比例のグラフ上の座標と式の間関係を理解すること

(3) 考察と今後の取組

- ・ 正答率は、全国平均を上回る領域はありませんでしたが、昨年度と比較すると、ほとんどの領域で全国平均との差が縮まっており、学力向上の取組の成果としてとらえることができます。
- ・ 今後、各校において調査結果の分析に基づき、国語及び算数・数学の指導改善を図るとともに、他教科、領域においても読解力や問題解決能力の向上等に努め、児童生徒の実態に応じた学力向上の具体的対策を講じる必要があります。

5 質問紙調査結果 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等) と考察

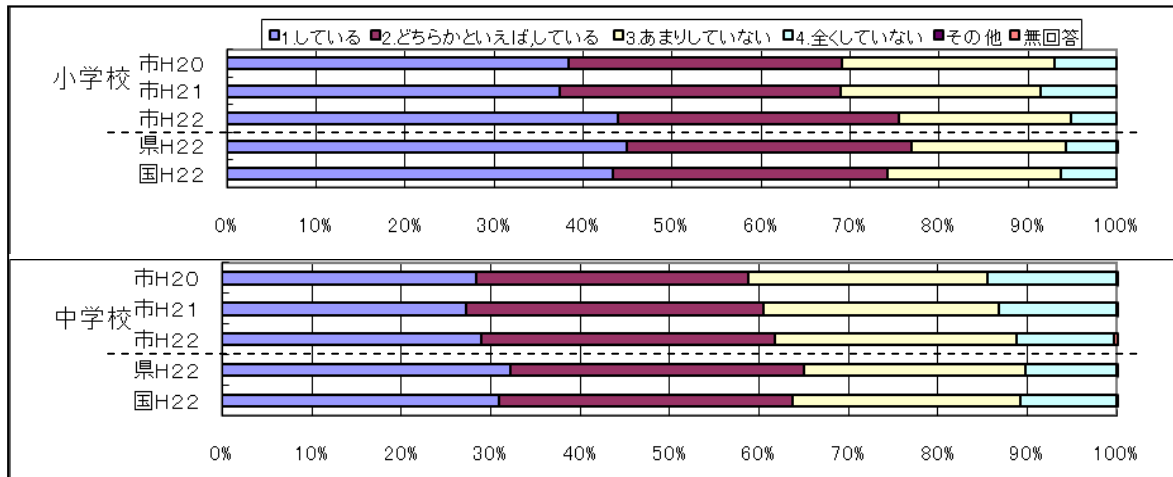
当市では、家庭用リーフレット『5つのトライ! 「い・し・の・ま・き」』を作成・配布し、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣や家庭学習習慣の形成に取り組んでいます。本調査の結果を、5つのトライの5観点に基づき、過去2年間と比較して分析を行いました。

5つのトライ! 「い・し・の・ま・き」

- い 「いつも大切にしよう 子どもとの対話」 (親子の対話)
- し 「親しませよう 読書の世界」 (読書習慣)
- の 「伸ばそう 見つけよう 得意な分野」 (個性の伸長)
- ま 「毎日続けさせよう 家庭学習でパワーアップ」 (学習時間)
- き 「規則正しく送らせよう 生活リズムの習慣」 (生活リズム)

い 「いつも大切にしよう 子どもの対話」

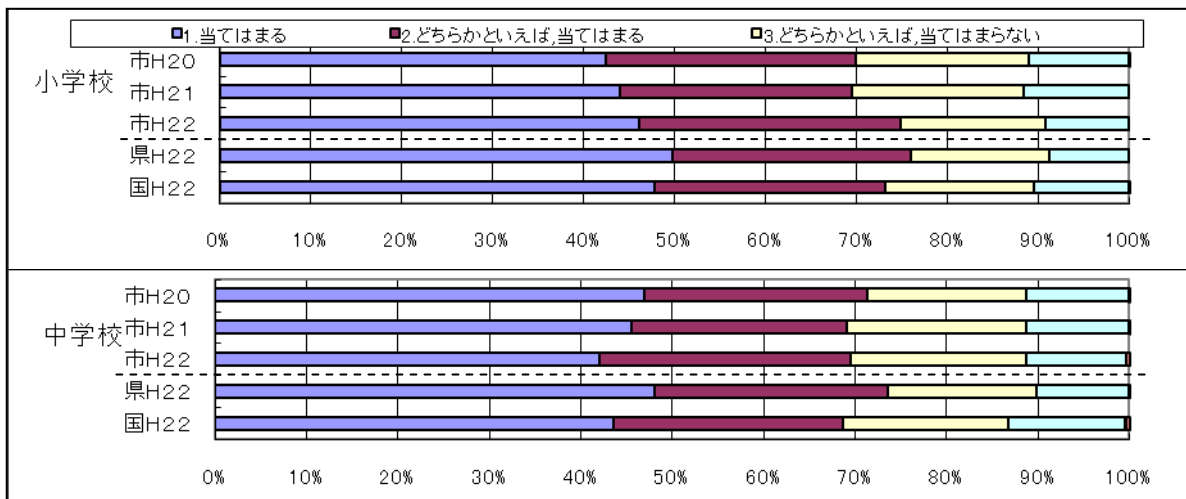
Q. 家の人と学校での出来事について話をしていますか。



【考察】 家庭で学校での出来事を話している児童生徒が、小・中学校ともに昨年度より増加しています。今後も、家庭でのあいさつや一緒に食事をする事等、家庭における良好なコミュニケーションを一層進めるよう、保護者等に働きかけていく必要があります。

し 「親ませよう 読書の世界」

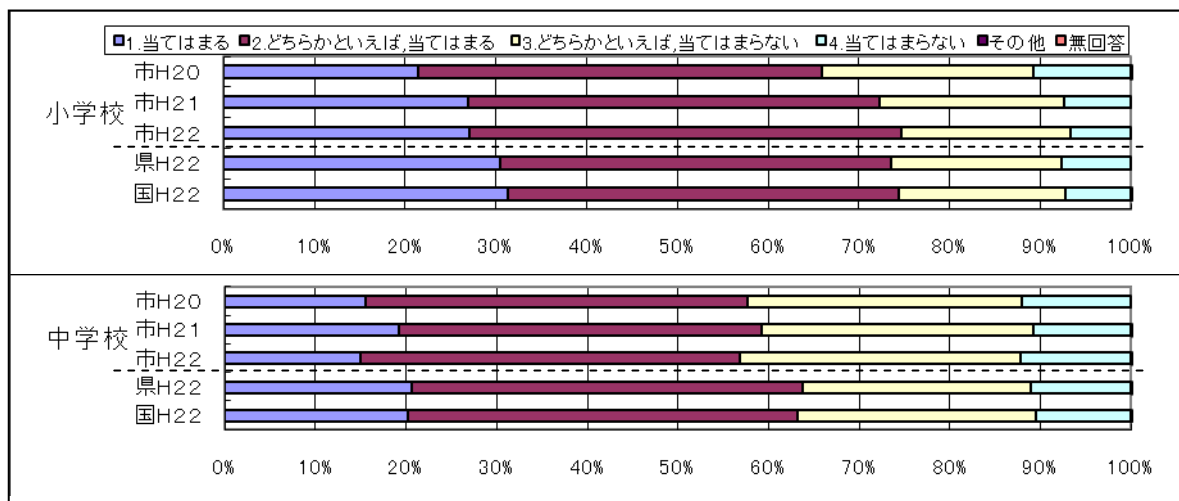
Q. 読書は好きですか



【考察】 読書を好む小学校児童が増加しているのに対し、中学校生徒は若干の減少が見られます。その一因として、部活動や塾等により、家庭で読書に親しむ時間を持たないことが推測されます。読書を楽しむ児童生徒が増えるよう、朝読書や読書週間の実施、図書室経営の改善等、学校の中で読書に親しむ場を工夫し、読書意欲を喚起していく必要があります。また、読書に親しむ習慣形成には、幼小期からの環境が重要であることから、幼児教育を含めて発達段階に応じた取組を、家庭と連携して行っていく必要があります。

の「伸ばそう 見つけよう 得意な分野」

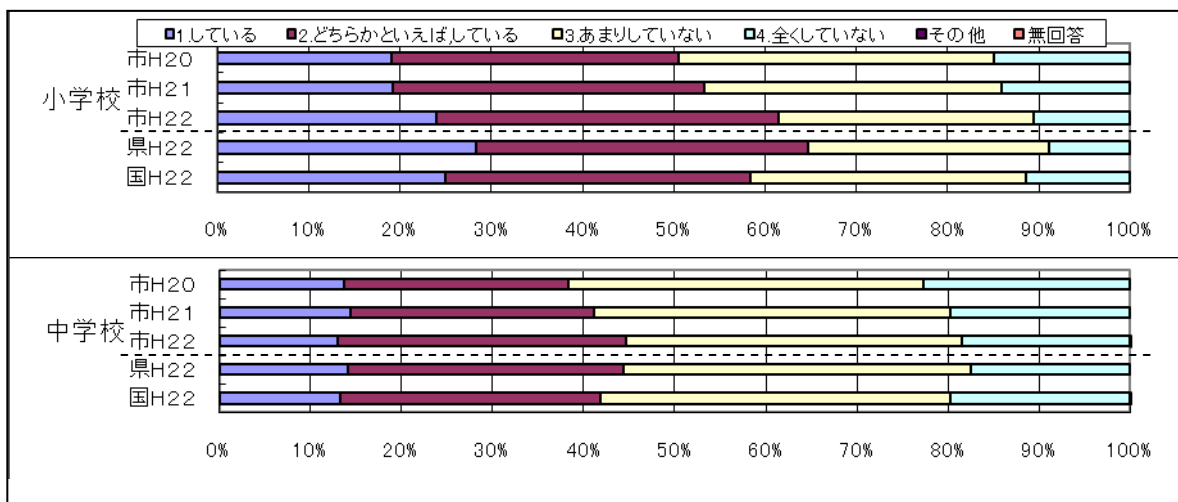
Q, 自分には、よいところがあると思いますか



【考察】自分のよいところを自覚している小学校児童が増加傾向にあるのに対し、中学校生徒は昨年度より減少しています。自尊意識を高め、将来の夢に向かって励むことは、宮城県で取り組む「志教育」とも深くかかわるものです。思春期にある中学生は、自分を否定的に見てしまうことも多いので、発達段階を十分に配慮しながら、自尊意識を高める指導を工夫していく必要があります。

ま「毎日続けさせよう 家庭学習でパワーアップ」

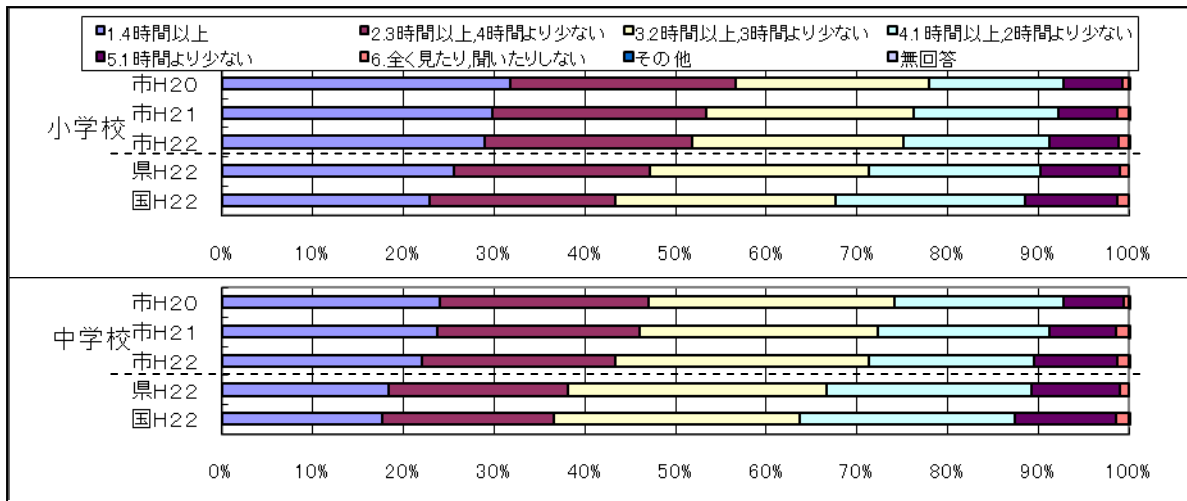
Q, 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



【考察】家庭学習に計画的に取り組んでいる児童生徒は、小学校では大幅に増加しており、中学校でも増加傾向が見られます。今後も、自分の努力や学習の成果を自己評価させるとともに教員や家族が認め励ます等、学校と家庭が連携して、自主的に学習に取り組もうとする態度の育成のための指導や環境づくりを工夫していく必要があります。

き 「規則正しく送らせよう 生活リズムの習慣」

Q、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



【考察】小・中学校とも、テレビ等の視聴時間は年々減少してきていますが、まだ、県や全国と比較すると長時間であり、改善が必要です。また、テレビ等の視聴時間の減少の一方で、テレビゲームやインターネット等についての調査では、増加傾向にあるという結果が出ました。指導に当たっては、視聴時間を減らすというだけではなく、その時間を家庭学習や読書にあてる等、生活全体の改善を図るよう指導していく必要があります。

6 調査結果を生かした取組

- (1) 石巻市教育委員会では、平成21年度より「石巻の学びステップアップ事業」を立ち上げ、石巻市立小・中学校長会と連携し、①教員の指導力向上、②児童・生徒の学習習慣の形成、③小・中学校連携による教育環境整備の充実を3つの柱として、児童生徒の学力向上に取り組んでいます。本調査結果を学力向上推進委員会で検証し、本市の課題を踏まえた学力向上フォーラムの実施や、事業の重点の設定等、今後の事業計画に生かしていきます。
- (2) 各校において、自校の調査結果から学力向上対策の成果と課題の分析を行い、文部科学省や宮城県教育委員会が作成した指導改善のための資料を参考にしながら、具体的な改善策を講じます。各校の取組の成果は、学力向上推進委員会で集約し、効果的な実践例を紹介するなど、市全体の学力向上に生かしていきます。
- (3) 本調査に参加した児童生徒には、個人票が配布され、本人及び保護者に調査結果が伝えられています。学校及び家庭の双方において、児童生徒一人一人のがんばりを認め励ますとともに、家庭学習の充実や生活習慣の改善等、児童生徒が自己の成長に主体的に取り組めるよう、学校と家庭との連携の充実を図っていきます。